

医王山 照光寺

創開本尊
薬師如來
建山



縁起
開基は天正十六年（一五八八）ご本尊様は薬師如来。当時は宮浦村慶宮寺の門徒寺であったと云う。今の県道西側、川添の場所にあったが、元禄十年の火災でことごとく焼失した。翌十一年に現在の場所に移転新築されたと云う。時は遡ること、大川港全盛のころ京都から山形の鶴岡へ納められるお薬師さんを積んだ船が、石川県輪島港より風待ちのため大川港に寄港した。ところが不思議なことに、何度も出港しても風向きが変わり大川に戻されてしまい一ヶ月も大川の港に停泊した。ある晩、船頭さんとお坊さんは「お薬師さんがこの大川に戻りたい」との不思議な夢を見たので、そのお薬師さんを大川の照光寺にご本尊として安置した。すると順風が出て船は鶴岡に向かって船出できたとのことです。又、明治元年廢寺となつたが明治十年に復旧される。現在の場所はその後に建てられたものと言われている。お寺の正面入口「医王山照光寺」の額はお薬師さんに因んで、千石船の帆柱の板で作った額で、この文字は伊藤寛龍お坊さんが書いたものだそうです。千石船が如何に大きかつたか想像出来ます。

宗派	真言宗
住所	〒952-3435 新潟県佐渡市両津大川679
電話	0259-29-2070
H P	

交通 (路線バス) 停留所 〈東海岸線〉 大川 約 100m